

長野の林業

平成28年5月10日発行
長野の林業編集委員会

No.316

もくじ



新任ごあいさつ	中部森林管理局長	2
トピックス	平成28年度中部森林管理局の重点取組	3
特集	I 山地災害に備える	4
	II 小海県有林 J-クレジットの紹介／県産材CO ₂ 固定量認証制度	6
森の元気情報	長野県林業大学校の紹介	8
お知らせ	林業総合センター研究成果発表会の開催／ まつたけ増産のてびき(改訂IV版)を発行	9
県森連だより		10
長野県の木材市況		12



～式年造営御柱大祭～

7年目ごとに諏訪地域で行われる天下の大祭であり、大きな柱は長さ約17m、重さ10トンあまりにもなる縦の巨木16本が山から里、里から諏訪大社各4社まで人力で曳かれ、境内へ柱が建てられます。

写真は、4月2日から4日にかけて行われた上社山出しの様子です。氏子、地域住民の方々が木遣りに合わせ、約10kmにわたり曳行しました。



新任ご挨拶



中部森林管理局長
新島 俊哉

この度、中部森林管理局長を拝命しました新島です。

「長野の林業」の読者の皆様には、日頃から国有林野の管理・経営に格別のご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

私は、林野庁入庁後の初めての現場がここ長野県であり、実に23年ぶりに戻って参りました。地域の方々には公私ともに大変お世話になり、社会人2年目から中部局で過ごした7年間は、私の財産となっています。

さて、国有林野事業は平成25年、それまでの企業特別会計から一般会計に移行し、今年で4年目を迎えますが、森林・林業再生への貢献などを通じて地域の振興に努めることが一番の使命と考えています。中

も、「植える、育てる、使う、植える」というサイクルで森林資源を持続的に利用していくことが地域振興の鍵になると考えていますが、我が国の森林・林業は現在、施業のためのコストをいかに下げていくかということや、ニホンジカ被害を防止し低減させていくことなど、民有林・国有林共通の課題を多く抱えています。このため、国有林としてはこれまで蓄積してきた技術や経験を活かし、率先してこれらの課題解決に取り組んで参りたいと思います。その上で、森林の持つ公益的機能の発揮や森林資源の多様化を目的として、様々な生育段階や樹種から構成される針広混交林への誘導を進めて参りますが、これらの施業の結果得られる木材については、地域林業・木材産業の振興が図れるよう安定供給に努めて参ります。

また、本年4月、熊本県熊本地方を震源とする地震により多くの被害が発生しておりますが、長野県においても、平成26年に南木曾町での豪雨による土石流災害や御嶽山の噴火災害などの自然災害が発生したところであり、今後も山地災害への備えをしつかりしていく必要があります。中部局としては、こうした災害に対しては、国有林の災害対応のみならず民有林の災害につ

いても、県や市町村等との合同によるヘリコプターでの広域的な被害調査の実施や治山技術者の派遣等により、引き続き、早期復旧に向けた迅速かつ積極的な対応を行う考えです。

かつていただいた御恩をほんの少しでもお返しできるよう、県や市町村、関係団体、そして地域の皆様と一緒に手を取り合っ、長野県の森林・林業・木材産業の振興ひいては地域の振興に貢献できるよう取り組んで参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



第1回「山の日」記念全国大会会場となる上高地(大会実行委員会HPより)

平成28年度林野庁中部森林管理局の重点取組事項

国有林野事業が一般会計化して4年目を迎える中、「公益重視の管理経営の一層の推進」、「林業の成長産業化への貢献」、「山村地域の振興と森林の総合利用」の3つの柱の下、地域における最大の森林所有者かつ事業実行者である国有林の特徴を活かし、民有林行政など関係機関とも連携して、以下の事項に重点的に取組みます。

1. 公益重視の管理経営の一層の推進

① ニホンジカ被害対策……………地域の農林業や高山植物群落などの森林生態系にとって脅威となっているニホンジカの被害への対策として、地域の自治体や猟友会等と連携して、生息状況の調査、個体数調整、防護柵の設置等の取組を進めます。特に、新たに協議会が設置された中央アルプス周辺における広域的な生息状況調査を開始するなど、生息域を拡大しているニホンジカの対策を関係機関と連携して実施します。

② 木曾悠久の森の取組……………天然ヒノキ、サワラ等からなる世界的にも貴重な木曾地方の温帯性針葉樹林の保存・復元を図るため、学識経験者や地域の関係者からなる管理委員会の下、地域の産業や観光振興、伝統文化の継承も視野に入れ、人工林を天然林に復元していくための具体的な施業方法等についての検討を行い、今後の森林施業に係る計画(復元計画)を作成します。

③ 保護林の再編……………日本アルプスをはじめとする原生的な森林生態系からなる自然環境の維持や動植物の保護などを目的に、約11万haを指定している保護林について、平成27年度に制定された新たな制度に基づき、学識経験者等からなる保護林管理委員会の下で、平成29年度末までに新たな区分への再編等を実施します。

④ 治山対策の推進……………災害に強い健全な森林を育成することにより緑の国土強靱化対策を進めるとともに、既存施設の長寿命化にも計画的に取組めます。火山防災対策としては、平成26年9月に噴火した御嶽山において治山ダムの新設を進めるとともに、新たに浅間山の噴火に備える事前防災・減災対策を開始することとし、施設計画を作成します。

2. 林業の成長産業化への貢献

① 林業事業体の生産性向上……………林業の成長産業化のためには、林業事業体及びその就業者の能力向上を図り、生産性を向上させ木材生産能力の高い林業事業体を育成することが重要であるため、林業事業体及び県・研究機関と連携して平成27年度から実施している「生産性向上実現プログラム」について、伐採・搬出作業等のPDC Aサイクルにおける作業工程の改善等のフィードバックをより早めるなど取組を深化させるとともに、その成果の普及を推進します。造林・保育の低コスト化人工林資源が充実し主伐期を迎える中、伐つて、植えて、育て、また伐る森林資源の循環利用を確実なものとするためには、伐採・搬出の生産性向上のみならず、造林・保育作業の低コスト化を図ることが不可欠です。このため、コンテナ苗を活用した伐採・造林一貫作業、植栽本数や下刈回数などの低減などの取組を進めるとともに、その成果の普及を推進します。

② 木材の安定供給……………管内で国産材を主な原料とする大型の製材工場や木質バイオマス発電施設などが次々と稼働を開始する中、需要先への木材の安定供給が重要な課題となっており、民有林とも協調しつつ立木・素材のシステム販売等の取組を進めます。

③ 民有林との連携の推進……………民有林との森林共同施業団地における路網の連結、民有林と国有林の木材の協調出荷、森林総合監理士育成のための研修、事業予定量の情報提供等の取組を進めます。また、県と国有林の森林総合監理士等の連携による「林業技術推進チーム(仮称)」を設置してケーススタディ地区を設け、市町村や林業事業体を対象とした現地検討会や勉強会を実施すること等により、生産性の向上や造林コストの低減など地域の林業の課題解決に取組めます。

3. 山村地域の振興と森林の総合利用

① 国民の祝日「山の日」を契機とした普及活動……………平成28年より8月11日の国民の祝日「山の日」が始まることを契機に、日本アルプスなど数多くの山岳や豊かな森林を擁する国有林の特徴を活かし、関係機関と連携して「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」山の日 of the 趣旨をPRするとともに、それを契機として森林に一層親しんでいただけるよう取組を進めます。

② 地域振興に向けた取組……………諏訪大社御柱祭などの木の文化を支える森づくり、グリーン・サポート・スタッフによる地域情報の発信、中京圏等の住民の方を対象にした木曾地域の復興支援イベントの開催など山村地域の振興に向けた取組を進めます。

山地災害に備える



平成27年9月台風災害
長野市 栃ノ木



平成27年4月融雪災害
安曇野市 底白



近年も山地災害が多発しています

山地防災活動の事例



「森林の防災・減災講座」
(H27年度に県内3箇所で開催)



地域で行う山地防災パトロール
(諏訪市神宮寺区)

山地災害が多いのは、これから始まる梅雨の季節です。そこで、国、都道府県、市町村では毎年5月20日～6月30日に山地災害防止キャンペーンを全国的に展開し、山地災害危険地区の周知やパトロール、山地災害に備える広報活動、防災訓練などを行っています。

日本では、毎年2,000箇所もの山地災害が発生し、多くの被害をもたらしています。日本で山地災害が多く発生するのは、地形や気候条件が山地災害を起こしやすい特性を持っているからです。私たちは日ごろから、山地災害の危険と隣り合わせに暮らしていることを認識しておかなければなりません。

山地災害防止キャンペーン
5月20日～6月30日

ちさんマンから魂のお知らせ!

その一 見逃すな! 山の危険信号

山地災害への備えとして、身近な山に関心を持ち、よく知ることが大切だよ!
 それと、山崩れなどの山地災害がおきるときは、山に何か異常な現象がみられることが多いよ。山地災害の兆候を覚えておくといいかもね!



その二 活用しよう! 最新の情報

(航空レーザ測量成果の活用)



平成25年度から26年度にかけて県林務部が航空レーザ測量を実施したことは知っているよね。そのレーザ測量データを活用した事例の話だよ!

図①は、松本市本郷地区を対象に作成した山地防災マップだけど、地域の皆さんも参加して一緒に作ったんだ。背景に、レーザ測量データを活用した詳細な地形図を使っているから、危険箇所がわかりやすいよね。

図②は、レーザ測量データから把握した地形情報と、樹木の混み具合などの森林情報を組み合わせて求めた山地災害危険箇所をあらわした図だよ。既に県内の半分近く解析が完了している、森林の疎密度などの情報は条件付きながら提供可能だから、これらの情報が必要な場合は、県森林づくり推進課治山係に問い合わせみてね。

え? 語り方がただけているわりに、話が全然面白くないって? え? 久しぶりに登場したら、キャラが変わってないかって? ...気のせいだよ! ...またね!

【森林づくり推進課】

小海県有林J・クレジットのご紹介

県では、小海県有林の森林整備(間伐)によって増加した二酸化炭素吸収量について、「J・VER制度」及び「J・クレジット制度」の認証を取得し、平成二十四年五月から企業や団体に販売しています。(旧J・VER制度は平成二十五年度に国内クレジット制度と発展的に統合されました。)

クレジットは環境保全や温室効果ガスの削減に取り組む県内外の企業・団体にご購入いただき、カーボン・オフセット(省エネ活動ではどうしても削減できない二酸化炭素量を、他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)すること)やCSRにご活用いただけます。

販売収益は県有林整備の貴重な財源となっており、平成二十四年度から二十七年年度の四年間で約二三ヘクタールの整備を行いました。

平成二十七年年度のカーボン・オフセット事例のご紹介

○株式会社クリーンビジネス(長野市)

松代産の杏の加工商品一つにつき三キログラム、杏の木オーナー制度で一本につき三〇〇キログラムの二酸化炭素排出量に相当するクレジットを付加し、販売等に伴う環境負荷などをオフセットしています。

○エコファーム福畑(木曾町)

木製照明器具一つにつき一円を付加して販売し、商品の製造過程で排出される二酸化炭素排出量をオフセットしています。

木製照明器具



杏ジャム



県内のクレジットのご紹介

県内でも、森林整備の資金調達の方法として、また地域づくりの一つの方法として、クレジットの取得を検討する動きがあります。そこで、平成二十七年年度に登録されたプロジェクトをご紹介します。

○木曾町「木曾町森林吸収〜木曾川上流域からきれいな水を〜プロジェクト」

上流のきれいな水を下流に提供したい。そんな想いで町有林の整備を実施するもので、J・クレジット一二七トン・CO₂の販売を開始しています。

○根羽村森林組合「長野県根羽村森林組合による間伐事業を用いた温室効果ガス吸収プロジェクト〜健全な森林づくりによる地球温暖化防止と持続可能な山村社会を目指して〜」

森林整備から木材の加工・販売まで一貫して行う「トータル林業」を実践し、上下流が連携して地球温暖化防止に取り組むもので、今後クレジットを発行し、販売する予定です。

今後も、カーボン・オフセットの取組みがより広がるとともに、J・クレジットの利用が一層進むことを期待しています。また、県のクレジットも引き続き販売していますので、ご利用をお待ちしています。

【お問い合わせ】

林務部森林づくり推進課 県営林係
TEL 026-235-7272

小海県有林J・クレジット・J・VERの販売状況

(平成28年3月末現在)

(単位: t-CO₂)

販売数量	契約数量	現在販売数量
1,207	1,080	127

販売単価: 16,200円(税込み)

販売単位: 1 t-CO₂単位

長野県産材CO₂固定量認証制度による平成二十七年末のCO₂固定量がまとまりました。

一、長野県産材CO₂固定量認証制度とは

木材を建築物に使用すると、その建物を除却し燃やされるまでの間、長期間その建物の木材が「CO₂を固定」します。このことは、地球温暖化防止につながり、さらには県産材を使用することで地域の森林整備も促進されることとなります。

長野県産材CO₂固定量認証制度では、県産材を使用した住宅等の建築・内装木質化を行う施主や、木製品の製造者や購入者に対し、県産材利用による環境貢献度をCO₂固定量と森林整備貢献面積に換算し「見える化」をして、「CO₂固定量認証証書」を発行し、県産材の利用促進を図っています。

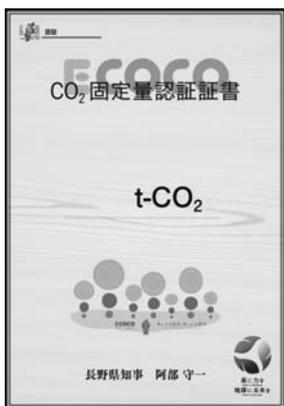
二、長野県産材CO₂固定量認証件数と認証量の推移

初年度である平成二十四年度は七十三件、CO₂固定量は七百六十(t-CO₂)でした。その後件数は減少しているものの、CO₂固定量は上昇傾向で推移し、平成二十七年末においては、約千二百(t-CO₂)となっています。

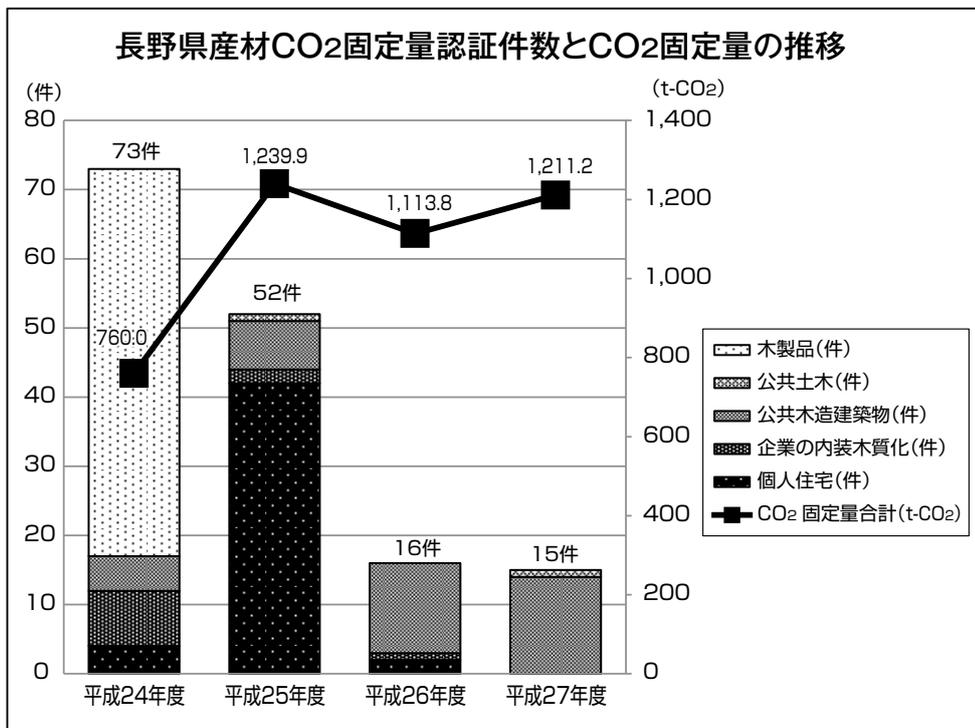
現在は公共建築物での申請が多数を占めていますが、今後は個人住宅でも当制度が普及し、申請が増えることを期待します。

三、制度の詳細について

長野県産材CO₂固定量認証制度については、林務部信州の木活用課県産材利用推進室



CO₂固定量認証証書



(電話：026・235・7266)又は最寄りの地方事務所の林務課までお問い合わせください。
また、県のホームページでも御紹介しています。
<http://www.pref.nagano.lg.jp/mokuzai/sangyo/ringyo/kensanzai/ecoco.html>

【県産材利用推進室】

意欲と能力にあふれ、即戦力となる人材を育成する 森林林業専門校
 ～自然のなかに心のなかに森林を育てる～
長野県林業大学校を紹介します！

長野県林業大学校は、「自然のなかに心のなかに森林(もり)を育てる」をモットーに、実践的な教育を重点にした、森林・林業の技術者を養成する修学年数二年、定員は一学年二〇名の大学校です。

昭和五十四年四月一日に開校し、今年度創立三十八年目を迎えました。本校は、東に木曾駒ヶ岳、西に御岳山を望む素晴らしい景観に恵まれた、木曾檜で有名な長野県木曾町に位置しています。

学生達は、この豊かな自然と全寮制を通じて人間性を育む「全人教育」のもと、経済的にも恵まれた環境のなかで、森林・林業の専門的知識を学ぶとともに、林業機械を駆使した実習などで、即戦力となる優れた知識と技術を身につけます。

本校の特徴は、即戦力に繋がる実学を重視し、四年生大学に比べ有意義な資格が取得できることから、卒業生の六割以上が林業事業体に就職しています。

また、全国と同様の短期大学のなかでも、林野庁、県林務部など公務員に進む学生が多いこと、国立四年生大学等への編入者も多いことなども、本校の特徴です。

経費面では、全寮制であることから、生活費込みでの年間経費が



開校30周年を契機に、海外研修を導入、オーストリアの最先端の林業技術を研修します。

大変安く、さらに、有利な奨学金に加え、給付金(年間一五〇万円)も活用できるなど、様々な面で有利な条件を備えています。
 近年、森林・林業関係の職種では、専門の技術を持つ若き人材の需要が高まっており、本校学生への追い風となっています。
 就職など進路指導はスタッフが学生の満足いくまで親身に行うのも、本校の大きな特徴の一つとなっています。

また、本校では、地域社会への貢献を運営方針の柱の一つにしています。その取組の一つとして、地域に開かれた大学校を目指して、地域の方々を中心に、県民の方々が学生とともに、通常の講義を受講する年八回の「県民共学講座」、また本校講師が、近くの里山で春には山菜、秋にはキノコ等の分類を講義、そして共に味わう人気の企画を含む、年八回の「公開講座」を実施し、昨年度は延べ二〇〇名以上の方々が参加しました。



本校講師と共に、山菜を学び、そして味わう! 人気の「公開講座」です!!



地域住民が学生と共に学ぶ「県民共学講座」

今回、ご紹介したのは、本校の魅力のごく一部ではありますが、長野県林業大学校は、今後も、地域の方々に愛されながら、本県林業の指導的な役割を果たす有能な人材を育成することを目的として、行学一致の総合的な教育を行ってまいります。

【林業大学校】

林業総合センター研究成果発表会を開催します。

入場無料

林業総合センターでは、平成十七年度より研究成果を皆様にお知らせする研究成果発表会を開催しています。

第十回となる今年度は、平成二十七年に得られた研究成果の中から、県民の皆様に広くオススメしたいトピックスを選抜してご紹介するとともに、職員個々の研究成果も発表します。

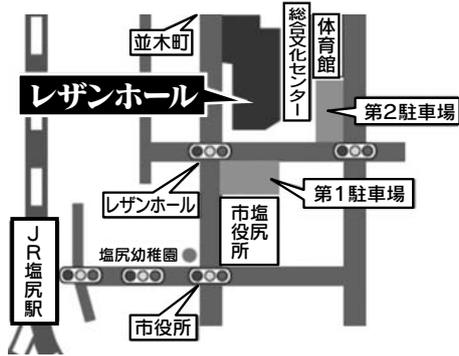
日時 平成二十八年六月二十一日(火)
午後一時から三時三十分まで(午後十二時三十分開場)

場所 塩尻市レザンホール(塩尻市役所北隣)

内容 開催テーマ「充実しつつある資源の有効利用と更新技術の模索」
□頭発表(中ホール)

・指導部、育林部、特産部、木材部の各々が、特にオススメできる研究成果についてスライドを交えてご紹介します。

ポスター発表(ホワイエ)
・センター職員が実施した研究成果等をポスターで紹介します。ポスター前で担当職員が説明しますのでご意見等をお聞かせいただけます。



レザンホール 塩尻市大門七番町四番八号
電話 0263-53-5503

交通案内：塩尻駅より徒歩約7分です
お願い 自動車でお越しの方は乗合せにご協力ください

問い合わせ 林業総合センター 指導部
部長 宮崎 隆幸
担当 間島 達哉
電話 0263-52-0600 Fax0263-51-1311
E-mail: ringyosogo@pref.nagano.lg.jp
http://www.pref.nagano.lg.jp/ringyosogo/



まつたけ増産のてびき(改訂IV版)を発行

マツタケの都道府県別生産量は平成18年から長野県がトップの座を占めています。

マツタケ王国長野県として、アカマツ林の整備とともにマツタケ生産に積極的に取り組んでいただきたいため、長野県林業総合センター監修のもと「まつたけ増産のてびき(改訂IV版)」を発行いたしました。

購入希望者には、次のとおり取り扱っています。

名称：まつたけ増産のてびき(改訂IV版)

価格：1冊 3,200円(消費税、送料込)

問合せ先 長野県特用林産振興会 TEL 026-224-7822

6月の市売りのご案内

本部事務所(製品)	荻原事務所(原木)	坂下事務所(原木)	国有林土場等活用委託販売市売日
荷主会結成 48周年記念市 6月25日(土)	6月28日(火)	6月 8日(水) 6月24日(金)	6月7日(火) <small>入札物件紹介・入札結果はホームページに掲載 ※本市売は、これまでの木曾地区国有林の公売に代わるものです。</small>

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。



木曾官材市売協同組合

ホームページアドレス <http://www.kisokan.com>

荻原事務所：長野県木曾郡上松町荻原字中島1431-1 ☎0264-52-2483(代) FAX0264-52-4885
やぶ原土場：長野県木曾郡木祖村荻原844-1 ☎0264-24-0085(代) FAX0264-24-0086
坂下事務所：岐阜県中津川市坂下133-1 ☎0573-75-3178(代) FAX0573-75-3172

理事長 野村 弘
本部事務所：長野県木曾郡上松町正島町2-45
☎0264-52-2480 FAX0264-52-2324



日々の作業の安全向上のために 長野県森連労働安全推進大会

長野県森連では平成28年4月16日(土)に中信木材センターもくりゅう館(安曇野市)において労働安全推進大会を開催しました。

労働安全推進大会は、役職員が一堂に会し45名が参加して開催されました。初めに、安原常務による開会あいさつが延べられ、森林組合綱領唱和、滝澤専務理事による挨拶が行われました。



滝澤専務の挨拶

次に、林材業安全管理専門家である市川和歳氏を講師として「労働安全対策について」講演をいただきます。



市川林材業安全管理専門家による安全講演

市川講師は、労働安全に関する法体系から説き起こされ、安全衛生教育の内容、第12次林材業労働災害防止計画の重点対策についてわかりやすく解説してください。昨年長野県で起きた死亡災害についてバスタブ曲線のグラフを示しながら具体的な問題点について伐倒方向の狂いやかかり木によるものが多いこと等を説明してください。

続いて、リスクアセスメント活動が、労働災害の危険要因を事前に洗い出し、取り除き、防止する重要な活動であることについて述べられ、安全意識を高めるための地道な活動として、統計で事故発生が1/6になるといわれている指差し呼称活動、危険予知活動(KYT活動)、ヒヤリ、ハット活動(ハイリッピの法則)、安全衛生改善提案活動について解説され、チェーンソーによる伐木等の安全に関するガイドラインの重要点について説明してください。

最後に、遠慮せずに、厳しく、優しく、互いに声を掛け合って安全確認をすることが重要であることと強調してください。

次に、業務部芳川幸一次長を中心に「連合会業務での危険予知について」として、各木材センターから日常の業務の中で起きたヒヤリ、ハットの事例についての発表が行われました。県下の木材センターで実際に起こっている具体的な事例に、参加者は他人ごとではなく自らのこととして熱心に聞き入っていました。



ヒヤリ、ハットの事例を傾聴

この後、事故防止に非常に有効な活動である指差し呼称を全員で行いました。



指差し呼称中!!

最後に、安原常務の閉会あいさつで長野県森連労働安全推進大会を閉じました。

環境の保全は私たちの手で！ 長野県森連環境保全活動

長野県森連環境保全活動は、4月16日(土)に中信木材センター(安曇野市)で、長野県森連労働安全推進大会終了後に行われました。この活動は、CSR活動(企業が社会的責任を果たして社会を豊かにしていくための活動)の一環として行われたものです。

役員45名は2チームに分かれ、1チームは中信木材センター周辺の環境美化(クリーン活動)、1チームは中信木材センター周囲の環境保全帯へのイチイの植栽(緑化活動)を行いました。



環境美化(クリーン活動)チーム

環境美化(クリーン活動)チームは、一人一人がビニール袋を手に丹念に紙くず等を拾い集めました。周辺の地域マナーの良さを反映して量は少なめでしたが貢献することへの手ごたえを感じることができました。

イチイの植栽(緑化活動)チームは予想外の土の硬さに悪戦苦闘しながらも、気持ちの良い汗を流し、完成したイチイの小さな並木に爽快感を覚えることができました。



イチイの植栽(緑化活動)チーム

長野県森連では、今後このような活動を続けていく所存です。

協同組合の理解と共感づくりに取り組もう 長野県協同組合連絡会通常総会

4月12日(月)、JA長野県ビル(長野市)にて、第46回長野県協同組合連絡会通常総会が開催されました。

総会は、生活協同組合連合会・上田会長(連絡会副会長)と企業協同組合労協ながの・青木代表理事(連絡会副会長)より挨拶が行われた後、議事が執り行われました。

第1号 議案・平成27年度事業報告並びに収支決算の承認について、第2号議案・平成28年度事業計画並びに収支予算の決定について、第3号議案・負担金の賦課・徴収方法について、第4号議案・平成28年度役員を選任についてそれぞれ審議の上、原案通



青木連絡会副会長の挨拶

り承認されました。

総会終了後は、NPO法人フードバンク信州・美谷島越子副理事長による「フードバンク信州の取り組み」をテーマに膨大な食品廃棄の一方で、生活困窮者が増大する地域に、支え合いの輪を取り戻す試みについての講演が行われました。



審議の様子



講演「フードバンク信州の取り組み」

講演が行われまし

長野県の木材市況

第971回 市売市況表

(平成28年4月28日実施)
 長野県森林組合連合会 伊那木材センター
 TEL0265-72-2684 Fax 0265-76-8759
 ○ 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考
ひのき	3.0	直	18~20	16,000	15,000	○	3.0m柱材18-20に引き合いあり 4.0m土台用良材に引き合いあり
		直	22上	15,000	14,000	○	
	4.0	直	16~18	18,000	15,000	○	
		込	20~28	18,000	15,000	○	
		曲	14~18	13,600	10,000	-	
		曲	20上	16,200	12,000	-	
6.0	直	18~20		23,000			
栗	4.0	込	22~30	17,200	12,000	○	良材出荷をお願いします
槐	2.0~2.8	込	40~42		35,000		
檜	4.0	込	18~22	10,000	8,000		
からまつ	4.0	直	18	12,000	8,000	-	材不足しています。出材お願い致します
		直	20上	12,500	11,000	○	
		曲	14~16	8,000	5,400	-	
あかまつ	4.0	直	20上	10,000	7,000	○	需要期が過ぎ価格が弱気配です
		曲	14~16	8,000	5,400	-	
		曲	20上	10,000	7,000	○	
すぎ	3.0	直	16~18		9,000	△	20cm上は4.0mに造材願います 4.0m直材の良いものに引き合いあり 30cm上の元は良材のみ欠点のあるものは売りにくい
		直	20上		9,000	-	
		直	22~28	11,500	10,000	△	
すぎ	4.0	直	30上	15,000	9,800	△	
		元	30上		9,800	△	

出品量550㎡ 販売量530㎡ 落札率96% 買い方 30社

出品量が少ない中で、赤松に関しては需要時期が終り値段が下降気配です。また、ひのきは全体的に不足していますので直造材に心掛けてご出品の程よろしくお願致します。合法認定事業者の登録をお願いするとともに出荷時には必ずその都度合法認定番号および合法木材であるコメントを記載した内容の納品書の提出をお願いします。

第973回 市売り市況表

(平成28年4月27日実施)
 長野県森林組合連合会 中信木材センター
 Tel 0263-77-2347 Fax 77-2349
 ○ 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考
す	3.0	直	16~18	12,000	9,000		3.0m×14~18cm柱取り引合いあります。20cm上は4.0m造材してください。
		直	30~48	28,000	11,000		
ひのき	3.0	直	20上	16,000	13,000		並材値段横這い。
	4.0	直	20~28	18,000	14,000		
	4.0	元	36~48	50,000	20,000		
からまつ	4.0	込	6~13	10,000	8,000		材不足しています。ご出品お願いいたします。
		直	14~18	10,000	8,000		
		直	20上	13,000	12,000		
		曲	14~18	8,000	5,000		
あかまつ	4.0	曲	20~40	10,000	7,000		需要期を過ぎ価格下がり気味です。
		直	40上	16,000	13,000		
		込	18~24	12,000	9,000		
かばくりくるみかき	3.0~4.0	込	18~34	45,000	15,000	○	広葉樹、応札活発ご出品下さい。
		込	30上	40,000	13,000	○	
かばくりくるみかき	3.0~4.0	込	18~34	52,000	12,000	○	
		込	18~34	52,000	12,000	○	

出品量 3,761㎡ 販売量 2,828㎡ 落札率 75% 買い方 40社

今回も良材には応札が多く高値がつきました。引合いはあるものの品不足なのが現状です。今後も需要が見込まれますので引き続き出品をお願いします。尚、ゴールデンウィーク中はカレンダーどりの営業となります。当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第1004回 市況表

(平成28年4月14日実施)
 長野県森林組合連合会 北信木材センター
 Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547
 ○ 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考	
すぎ	3.0	直	16~18	13,000	9,000		需要あり。直造材をお願いします。直造材をお願いします。	
		直	20上	13,000	10,000			
	4.0	込	8~13	5,500	4,500			
		直	14~20	12,500	9,600			
		直	22~28	13,500	11,000			
		直	30上	16,000	11,000			
		曲	14~18	6,000	4,000			
		曲	20上	11,000	7,000			
	5.0	直	30上	18,000	12,000			無欠点・直造材をお願いします。
	からまつ	3.0	込	9~13	9,500	6,000		
直			14~18	11,000	8,000			
からまつ	4.0	込	6~13	11,000	6,000		細物直造材を心がけて下さい。出品願います。需要あり。出品願います。	
		直	14~18	12,500	8,500			
		直	20上	18,000	11,000			
		曲	14~18	5,100	5,000			
ひのき	3.0	直	20上	12,500	9,000		無欠点・直造材をお願いします。	
		直	22上	21,000	12,000			
		直	30上	24,000	14,000			
ひのき	4.0	直	16~18	15,000			無欠点・直造材をお願いします。	
		直	20上	16,500				
		直	16~18	17,500				
		直	20~28	20,000				
けやき	5.0	直	30上	22,000			一本単価	
		曲	20上	16,000				
ほお	3.0		64	310,000				
			60	170,000				

出品量 3,379㎡ 販売量 3,190㎡ 落札率 94.4% 買い方 41社

今回は、3.0m~7.0mまで幅広くご出品いただいたおかげで、多くの方にご来場いただき、盛大な市売りとなりました。出荷者の皆様にはあらためて感謝申し上げます。市況といたしましては、スギ・カラマツともにやや需要減少の気配が感じられましたが、やはり良材には引き合いが多く、高値がつきましたので、あらためて丁寧な造材を心がけていただきますようお願い申し上げます。また、長尺材については供給過多になりつつありますので、良材以外は4.0m造材をお願いします。一方、広葉樹については、欠点の少ない太材に高値が見られました。極力、欠点（曲り・節・腐れ・二又など）を除き、長尺に注意して造材をお願いします。【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず（合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の）納品書の提出をお願いします。

第474回 木材共販市況表

(平成28年4月22日実施)
 出品量 1,400㎡・買い方 19社・落札率 92.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円)	平均値 (円)	平均石値 (円)	備考	
ひのき	2.0	直	18~40	18,000	12,000	3,360	一本売り	
			14	9,000	8,500	2,380		
	3.0	直	16	18,500	15,500	4,340		
			18~22	18,500	15,000	4,200		
	4.0	直	込	24~28	17,500	17,000		4,760
			中込	16~22	15,000	13,000		3,640
			込	24~28	15,000	13,000		3,640
			元	30上	13,500	17,500		4,900
			元	16~22	22,000	16,500		4,620
			元	24~28	20,000	19,000		5,320
	6.0	直	30上	75,500	32,000	8,960		
			12~14	11,000	9,000	2,520		
	4.0	直	込	16~22	15,000	13,000		3,640
			込	24~28	15,000	13,000		3,640
4.0	直	18~22	25,000	20,000	5,600			
		12下	360	300				
すぎ	4.0	込	16~18	8,500	7,500	2,100		
		込	20~22	10,500	8,500	2,380		
		直	24~28	13,500	12,500	3,500		
		直	30上	18,800	16,000	4,480		
3.0	直	18~22	8,000	7,500	2,100			
		24~32	8,000	7,500	2,100			
かばくりくるみかき	4.0	直	14~22	5,000	4,500	1,260		
		込	12~14	5,500	5,000	1,400		
		込	16	6,000	5,000	1,400		
		込	18~28	10,500	8,500	2,380		
		直	30上	13,500	9,000	2,520		
		小曲り	14~30	5,000	3,500	980		
あかまつ	4.0	直	12下	400	300			
		直	30上	12,000	11,000	3,080		
総	4.0	直	40上	13,500	12,000	3,360		
		直	40上	13,500	12,000	3,360		

ひのき、良材、出荷量とも少なく低調、価格はやや下げ。すぎは、全体に引き合いあり、良材の価格は横ばい。からまつは出荷少なく、価格横ばい。あかまつ、出荷量少なく、時期遅く価格は伸びず。全体に出荷量少なく低調。出荷協力いただきありがとうございました。